

# 夏に新そばが出荷できる ソバ新品種「夏吉」<sup>なつきち</sup>

畑作園芸研究領域

川崎光代

KAWASAKI, Mitsuyo



## 《育成の背景》

ソバは伝統的な食文化に根ざした食材で、周年で需要があります。東北地域でのソバ栽培は、夏に播種し秋に収穫する夏播き栽培（秋ソバ）が主流です。一方、春に播種して夏に収穫する春播き栽培（夏ソバ）は、主産地の北海道を始めとした他地域より先に新そばを出荷できることから実需者のニーズが特に高い作型です。しかし、「階上早生」など従来の東北地域向け品種を用いると収量が低いため、春播き栽培に適した品種の育成が急務となっていました。そこで、東北農業研究センターでは東北地域での春播き栽培に適した早生で多収のソバ新品種「夏吉」を育成しました。

## 《「夏吉」の特徴》

育成地（岩手県盛岡市）での春播き栽培（5月播き）においては、「階上早生」と比較して成熟期が7日早く10%以上多収です。一方、夏播き栽培（7月播き）においては、「階上早生」と比較して成熟期が4日早く低収ですが栽培可能です（表）。また、秋田県羽後町産の子実を用いて実需者によるそば麵の食味評価におこなったところ、「階上早生」より高い評価を得ました（図）。

なお、栽培上の注意は、畑の排水対策に努め、湿害回避を徹底してください。また、窒素過多は倒伏を誘発するので、適正な施肥量により栽培してください。次に、容積重が「階上早生」よりやや軽いため、収穫物の精選に留意することが必要です。

## 《今後の期待》

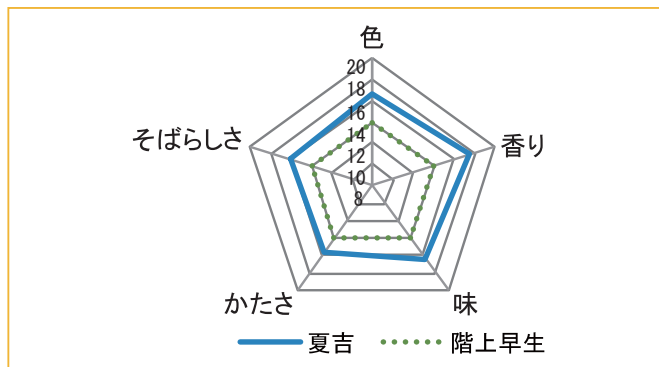
「夏吉」は秋田県羽後町を中心として東北地域で30ha以上の普及が見込まれています。「夏吉」という品種名は、生産者や消費者に幸運をもたらし広く親しまれる夏ソバ品種になってほしいという思いをこめて名付けられました。「夏吉」を用いた春播き栽培が普及することにより、夏に東北地域産の美味しい新そばを食べられる日が来ることを願っています。

表／東北農業研究センター（岩手県盛岡市）における「夏吉」の生育・収量特性

	春播き栽培		夏播き栽培	
	夏吉	階上早生	夏吉	階上早生
成熟期	7月28日	8月5日	9月21日	9月25日
草丈 (cm)	118	130	102	117
収量 (kg/10a)	85	76	121	145
容積重 (g/L)	564	578	550	615
千粒重 (g)	32.3	28.2	32.8	31.5

春播き栽培は2012～2014年の平均値

夏播き栽培は2012～2015年の平均値



図／「夏吉」のそば麵の食味評価試験結果  
2015年秋田県羽後町産の原料を使用し、夏播きの「階上早生」を標準（14点）とし春播きの「夏吉」を8点から20点で評価した。



写真／「夏吉」の開花の様子